

2011年7月12日

ジブラルタ生命保険株式会社

## お客さま情報の紛失について

ジブラルタ生命保険株式会社（代表取締役社長兼 CEO 倉重 光雄）において、弊社の元社員が在籍当時に業務に使用していたノートパソコンが、退職後も回収できず所在不明となるという事態が発生しました。このパソコン内にはお客さまの情報が含まれている可能性があり、社内での調査の結果、72名分のお客さまの情報が保存されている可能性があることが判明しました。このような事態を招き、お客さまをはじめ関係者の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけすることを深くお詫び申し上げますとともに、事実関係ならびに対処状況についてご報告申し上げます。

なお、所在不明となっているノートパソコンについては、ID・パスワードによるアクセス制限の他、高度な暗号化等による複合的なセキュリティ対策を講じております。また、このパソコン自体、セキュリティ措置により既に起動しない状態となっていることから、パソコン内に保存されているお客さま情報が流出する可能性は極めて低いものと認識しております。

また、現時点で本件に係わるお客さま情報の第三者への流出、および不正利用等の事実、二次被害の発生は確認されておりません。

### 記

#### 1. 顧客情報紛失の経緯とお客さま情報の内容

2011年4月末日付けで解雇となった弊社の元営業社員1名（福岡第2エリア八幡支部〈北九州市八幡西区〉所属）が業務上使用していたノートパソコンについて、解雇となった後も回収できておりません。現在、当該元社員の所在がつかめておらず、このパソコンの所在も不明となっていることから、顧客情報の紛失事案としてご報告申し上げます。

このパソコン内にはお客さまの情報が含まれている可能性があり、社内にてシステムへのアクセス履歴等による調査を実施した結果、このパソコンには、当該元社員が担当していたお客さま72名の保険設計書データとして氏名・性別・生年月日が保存されている可能性があることが判明しました。なお、このデータには、住所、電話番号、金融機関口座番号およびクレジットカード情報は含まれておりません。また、病歴など機微（センシティブ）情報に関する情報も含まれておりません。

## 2. 再発防止策

弊社といたしましては、本件を重く受け止め、管理体制の一層の強化および社員教育の徹底等により、これまで以上にお客さま情報の適切な管理に努めるとともに、再発防止を図ってまいります。